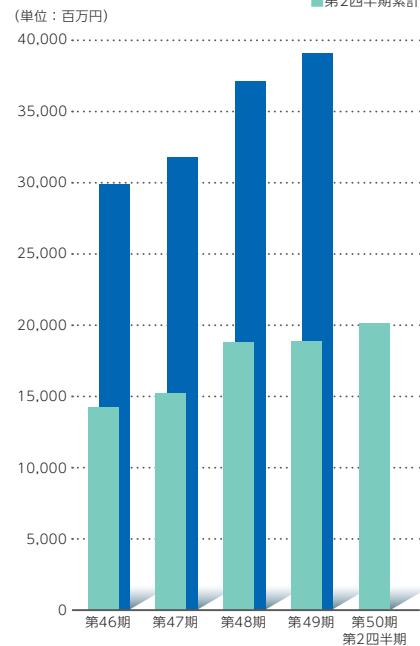


## 業績ハイライト (連結)

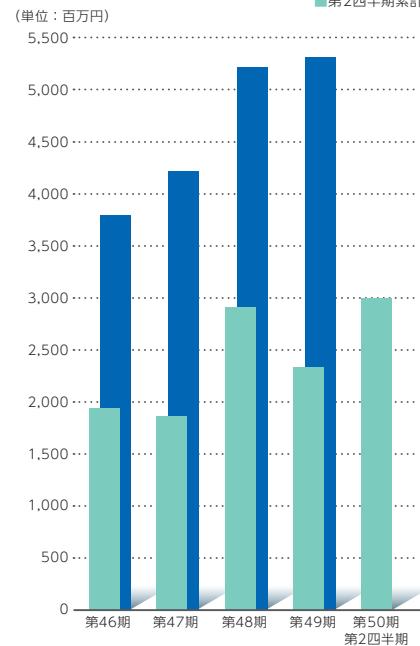
区分	期別	第47期 (平成28年3月期)	第48期 (平成29年3月期)	第49期第2四半期 (平成30年3月期)	第49期 (平成30年3月期)	第50期第2四半期 (平成31年3月期)
売上高 (百万円)		31,803	37,194	18,577	39,065	20,144
経常利益 (百万円)		4,205	5,208	2,334	5,318	3,001
親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益 (百万円)		2,567	3,087	1,368	3,361	1,778
1株当たり 四半期 (当期) 純利益 (円)		230.97	277.78	123.14	302.46	160.05
総資産 (百万円)		52,958	55,537	56,199	57,629	58,864
純資産 (百万円)		24,862	27,121	28,056	29,633	30,849

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第47期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期 (当期) 純利益金額を算定しております。

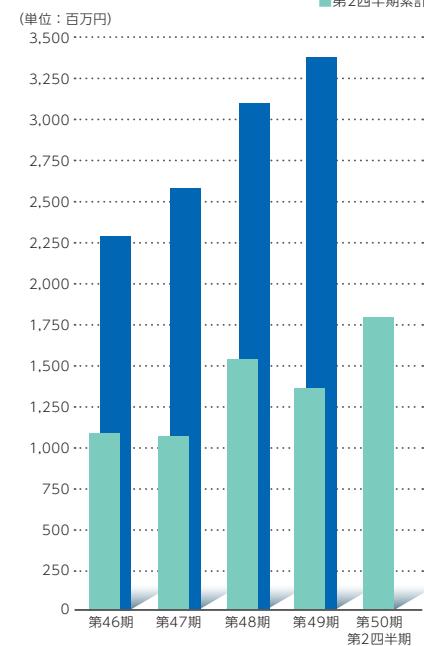
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 当上半期の業績について

当上半期は、全国で自然災害が続きました。当社は7月に発生した西日本豪雨に対し応急仮設住宅をはじめとする復興工事等に優先的に対応するなど、早期復興に尽力しております。

当上半期のユニットハウスのレンタルにおいては、堅調な民間建設投資の影響と、東京五輪の関連施設工事や都市部の再開発など大型案件の受注活動に積極的に取り組むことにより、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移しました。また、デザイン性や機能性をさらに高めることで、イベントや代替時の仮施設など本建築市場におけるレンタル受注拡大に努めました。

ユニットハウスの販売においては、3階建てや大型連棟が可能な「MS1」の本格的な導入により、店舗・一般事務所といった本建築において大型物件の受注が増加しております。旺盛な需要に対応するため、引き続き全国的な設計・施工協力会社のネットワーク拡充を図り、受注体制のさらなる強化に努めております。

トランクルームのレンタルにおいては、WEB 広告を強化するなど稼働率の向上を図り、既存店の収益力改善に努めました。

また、業容の拡大に対応するため生産設備の投資を進め、供給能力の増強に取り組むとともに、並行して原価改善活動を推進し、利益確保に努めております。

上記の結果、当上半期の連結売上高は20,144百万円(前年同期比 8.4%増)となりました。

利益面においては、営業利益 2,969百万円(前年同期比 26.5%増)、経常利益 3,001百万円(前年同期比 28.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,778百万円(前年同期比 30.0%増)となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。



建築士事務所 (外観)



建築士事務所 (室内)



エンターテインメント施設